

【プログラム名】

## ◎インターネットについて考える

家庭教育支援ガイドブック「子どもに身近なインターネット」

### 1 プログラムの準備等

○適切な実施時期：保護者の参加が多い行事等

○実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）

○対象：児童期（小学校中学年～高学年）の子どもと保護者

○準備物、配布物

【配布物】※ファシリテーターの指示で配布

- ・家庭教育支援ガイドブック「子どもに身近なインターネット」
- ・A4用紙（グループワーク2で使用。人数分）
- ・内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」、新潟市教育委員会「生活・学習意識調査」などの資料



【備品】

- ・ホワイトボード、マーカー
- ・クリップボード（会場にテーブルがなかった場合、人数分）

○その他（座席など）

- ・特に指定なし

## 2 展開例 (15:00～15:50 に実施の場合)

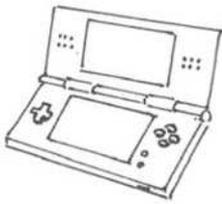
時間	プログラムの内容	ポイント 等
15:00～ (5分)	<p>○開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターあいさつ、自己紹介</li> <li>・今日の講座の趣旨と流れの説明</li> <li>・グランドルールの確認 [守秘、参加、尊重、時間厳守] の確認、写真撮影の了解など</li> </ul>	<p>【趣旨】</p> <p>ネット社会において、今ではなくてはならない生活の一部であるインターネットとどう付き合っていくか、保護者としてどう子どもに対応していくか、など、各家庭での取り組み方を考える機会にしてほしい。</p>
15:03～ (4分)	<p>○アイスブレイク (やり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターの質問に対し、当てはまる項目に挙手してもらう。</li> </ul> <p>【質問例】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①あなたはスマートフォンを持っていますか？</li> <li>②あなたはいつ頃スマートフォンを手に入れましたか？</li> <li>③あなたのスマートフォン（インターネット）の使用時間は一日どれくらいですか？</li> <li>④現在、お子さんにスマートフォンを持たせていますか？</li> <li>⑤これから持たせる予定はありますか？</li> <li>⑥スマートフォンの使い方についてルールを話し合っていて決めていますか？</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場づくり/参加者の状況等を把握する。</li> </ul>
15:07～ (13分)	<p>○グループワーク1 (やり方)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①インターネットを利用するメリット・デメリットを話し合う。 5分</li> <li>②インターネットのルールを決めているか、いないかを確認する。</li> <li>③ルールを決めるときに大切にしたいことについて話し合う。 5分</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5名のグループをつくる。アイスブレイクの回答の様子から、グループに偏りが出ないように気を配る。</li> </ul>

<p>15:20～ (15分)</p>	<p>【全体共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③について出た意見をグループごとに発表していく。ファシリテーターは出た意見をホワイトボードに記入する。 3分</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料A、Bを配布する。 A :家庭教育支援ガイドブック「子どもに身近なインターネット」 B :内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」、新潟市教育委員会「生活・学習意識調査」など (資料をもとに伝えたいこと)</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①その子に合ったルールになっているか</li> <li>②ルールに一貫性があるか</li> <li>③親も一緒に協力できるルールになっているか</li> <li>④ルールを守らない時のルールをどうするか ※子どもにルールの目的や意図を理解してもらうためにはどう話し合っていくのがよいのか、資料を参考に考えてほしい。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような意見が出たか、情報を共有する。</li> <li>・記録は、サブファシリテーターが行う。</li> <li>・青少年（10歳～17歳）のインターネット使用率が95%に達するなどの「インターネット利用環境の実態」や、「ネットトラブルが起きた時の相談窓口」など、具体的な情報を提供する。</li> </ul>
<p>15:35～ (10分)</p>	<p>○グループワーク2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>問い「我が家のルールを子どもと一緒に考えるために、大切にしたいことは何ですか？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ワーク 大切にしたいことをA4用紙に記入する。 2分</li> <li>・グループワーク A4用紙に書いたことをグループ内で発表する。 8分</li> </ul>	
<p>15:45～ (5分)</p>	<p>○まとめ</p> <p>ファシリテーターから、まとめとして下記の内容を伝える。</p> <p>(ア)親子で話し合える環境を日ごろからつくっておく。</p> <p>※子どもがトラブルを抱えた時に一人で抱え込んでしまわないようにするため</p>	

15:50	<p>(イ)日ごろから、信頼できる大人に相談してほしいと伝えておく。</p> <p>※ネットトラブルは、子どもだけ、子ども同士では解決できないことが多くある。「困ったことがあったら誰に相談する？」と子どもに聞く。</p> <p>(ウ)万が一に備えて、相談先について調べておく。</p> <p>○閉会</p>	
-------	---	--

# 子どもに身近なインターネット

子どものまわりには、インターネットにつながる端末がたくさんあります。学習や生活に役立つ情報が簡単に得られる反面、携帯依存症やアクセスによる問題など大きな社会問題に発展してしまう場合があります。



携帯型ゲーム機



スマートフォン  
携帯電話等



コンピュータ  
タブレットなど



音楽プレーヤー

## 子どもが陥りやすいトラブル

ネット上での書き込み等によるいじめ

高額な利用料請求書

不審者からの誘い出し

個人情報の流出

子どもたちが将来、常に正しく安全にインターネットを使えるようにするために、子どもの発達に合わせたインターネット環境を整えましょう。

**家庭で設定できる  
ゲーム機などの機能制限**

ゲームでインターネットを見たり、知らない人と通信することなどを制限できる機能があります(ゲーム機によって異なります)

**電話会社で設定できる  
接続機能の制限(フィルタリング)**

スマートフォンや携帯電話などでインターネットへの接続や閲覧できるページを制限できる機能があります

## インターネットを適切に利用するための我が家のルールを決めておきましょう。

例えば

- 食事の時間にはしない
- 夜は21時までにする
- 1日〇時間以内にする
- 充電器は居間に置く
- パスワードは共有するか親に知らせる
- メールやラインなどで人の悪口などは打ち込まない
- 知らない人からのメールは削除する
- 使用できない場所では使わない(マナーモードを活用する)
- 有料アプリ有料サイトの利用は親と相談する
- インターネットで知り合った人とは会わない
- ルールを守れないときは、一時利用禁止にする

**ルールはたくさん考えられますが、親が押しつけて決めるのではなく、家庭や子どもの状況に応じて子どもと相談して決めましょう**